

Anniversary 10th WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB

Weekly Report

VOL.10 NO.18 TOTAL.410
毎週月曜 PM12:30~1:30 場所:アバローム紀の国

和歌山アゼリアロータリークラブ

事務局:和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2F
TEL:073-435-3470 FAX:073-435-3472
E-Mail:wa-az-rc@naxnet.or.jp

会 長:信川 昌通 (会報委員)
副会長:松本 良二 北畑 充香・栗山 久・黒田 忠嗣
幹 事:安宅 浩一 坂部美智子・當仲 清孝・安田 久子

2007-2008年度
国際ロータリーのテーマ
ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心
R.I.会長 ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

2007-2008年度
アゼリアロータリーのテーマ
クラブ会員と 地域の人々と そして未来を担う若者と
“最も美しいもの
笑顔分かち合いましょ”

〈本日の例会〉

- 第 428 回例会 12月3日(月)
誕生会
10周年記念委員会

〈次回のお知らせ〉

- 第 429 回例会 12月10日(月)
内部卓話
3名予定

〈前回の例会記録〉

- ロータリーソング 我等の生業
- ゲスト紹介 地区委員 高寺 壽氏
- ビジター紹介 なし
- 出席報告 会員数43名
本日の出席 (11/26) 31名 72.09%
前々回修正出席 (11/12) 34名 79.06%
(内メイキャップ5名)

〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
- II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内8ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内 容
和歌山北	12月3日(月)	年次総会「次々年度会長、次年度副会長、次年度理事選出について」
和歌山	12月4日(火)	年次総会2006年-07年度出席表彰(31名)第7回ショートスピーチ
和歌山東南	12月5日(水)	クラブ総会 上半期活動報告①
和歌山西	12月5日(水)	年次総会 GSEに参加して
和歌山東	12月6日(木)	年次総会「次々期会長、次期副会長、次期理事選出」
和歌山城南	12月6日(木)	年次総会
和歌山南	12月7日(金)	年次総会
和歌山中	12月7日(金)	クラブ年次総会(次期理事・役員選出)

会長報告

副会長 松本良二

今日は信川会長がお父さんの初七日法要のため欠席されたので、代理を務めさせていただきます。会長報告は特にありませんが、皆さんインフルエンザの予防接種をされましたか? 流行の兆しが出てきましたので、予防接種をしましょう。このアンプルは1本で2人分らしいので、2人で行くとお医者さんは喜びます。風邪などを引かずにこの冬を乗り切りましょう。

幹事報告

幹事 安宅浩一

こんにちは、本日ボックスに入れさせていただいた来年の地区大会の案内です。来年4月12日・13日に県民文化会館にて開催されますので皆様ご出席宜しくお願い致します。次に先程からパンフレットを回覧しています、国際RC年次総会の案内についてです。来年6月15日~18日までの4日間、ロスアンゼルスで開催致しますので皆様のご参加宜しくお願い致します。次は本日お配りした「世界エイズデー」のレッドリボンですが、キャンペーンの日が12月1日になっています。当会の紀の女会と重なっていますのでキャンペーン参加は辞退させていただきましたのでご報告いたします。最後に和歌山東南RCの例会変更及び休会の案内です。12月19日の例会は12月22日の夜6時30分~アバローム紀の国でクリスマス親睦家族例会に変更になりました。それと12月26日の例会は休会になりましたのでご連絡致します。

委員会報告

◎新規開業祝い金授与
島 和代会員



◎米山奨学金授与



トに対する組み合わせ補助金（寄付に対して、同額、または半額が財団から補助される）。→申請が煩雑、時間がかかる等の理由で、当地区では薦めていない。

地区では、地区の社会奉仕ファンドによる世界社会奉仕活動を薦めている（上限があるが半額補助、手続きがしやすい、年度内に事業化できる等）

- ・研究グループ交換（GSE）

☆国際親善奨学生の状況

- ・女性が多い。
- ・奨学生の動向（3つのパターン）
地区の学友として活動→各クラブで卓話等の活動
帰国後、再度自費で留学または海外生活
音信不通

☆財団学友について

- ・構成メンバー：国際親善奨学生、研究グループ交換（GSE）チームメンバー
- ・財団学友の多くがロータリークラブに興味を持っている→ロータリークラブの会員に勧誘
- ・学友が実際にロータリアンになるには、会費等の問題がある。
- ・学友が新クラブを結成している事例がある。
例）かながわ湘南RC（GSE、奨学生とローテックス＝青少年交換学生のOB・OGで設立）
＊年会費7万円（食事はセルフサービス。ピジター¥2,000）

☆ロータリー財団を知るにはプログラムに参加するのが一番

国際親善奨学生やGSEメンバーの推薦をお願いします。

S・A・A報告 【3つの箱】

＊ニコニコ箱

泉大津RC 高寺 壽さん 卓話よろしくお祈いします。

南方孝一会員 先日はたん生のお祝いありがとうございました。

山田 茂会員 高寺様 本日の卓話よろしくお祈いします。

本日合計額 8,000円 今年度累計額 430,500円

＊ロータリー財団

南方孝一会員 山田 茂会員

本日合計額 5,000円

＊米山奨学

南方孝一会員 山田 茂会員

本日合計額 5,000円

◎親睦委員会

委員長 東谷俊幸



クリスマス例会の案内FAXにて送信いたしますので、12月3日までに
お返事お願いいたします。
沢山の出席お願いいたします。

卓 話

「ロータリー財団寄付金の使われ方」

地区ロータリー財団学友委員会 高寺 壽 氏



☆ロータリー財団の法的バックグラウンド：

1983年にアメリカ・イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となっており、1986年イリノイ州の一般非営利財団法並びにイリノイ州の採択する継承法に則って運営される。

☆寄付金

- ・世界目標：100ドル/人（現状は80～90ドル/人）
 - ・当地区実績：200ドル/人（日本平均では110～120ドル/人）・・・世界のトップレベル
- 強請ではないが、当地区では寄付金目標は200ドル/人（お陰さまで例年目標を達成しています）

☆寄付金の流れ（シェア・システム）

皆様から頂いた年次寄付金は3年後に、50%が地区財団活動資金（DDF）として、残り50%は国際活動資金（WF）として活用される。

☆当地区の地区財団活動資金の活用

- ・主に国際親善奨学金として活用：毎年10～20名の国際親善奨学生を送り出している。
- ・ロータリーセンタープログラムへの支援：国際紛争問題等解決のための財団プログラム

☆その他の財団の主なプログラム

- ・ポリオプラスプログラム（用途指定寄付）：ロータリーの歴史に残るポリオ撲滅運動
現在もポリオ撲滅への運動が続いています。ポリオ・プラス・パートナーへの用途指定寄付の協力もお願いします（ポリオ常在国で行われる社会動員や監視活動のため活動資金）。
- ・マッチング・グラント：
ロータリークラブと地区の国際奉仕プロジェク